

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ】 U & I ときめき課 ☎773-6659

南魚沼市で輝くひと (第19回)

いまなりしかご
今成駿吾さん



今回は、坂戸地区出身でUターン後に、「新潟モノづくり～^{ニーム}NiiMo～」の運営をしている今成駿吾さんにお話を伺いました。

Q これまでの経歴を教えてください。

A 地元の高校を卒業してからは海外留学し、22歳の時に東京で就職しましたが、その後地元に戻ってきました。

Q 現在はどんな仕事をされていますか？

A 新潟県のものづくりの技術を生かしたオリジナル製品を作り、インターネットで販売しています。

Q 人生のターニングポイントは？

A 木のことを知ったことですね。木に彫刻する表札を販売したことをきっかけに、木の種類についてもっと知りたくなり、魚沼市でブナの木を間伐する林業のプロジェクトに参加しました。木に詳しくなることで、木がお酒を熟成させたり、樹液がシロップになったりと、「もの」と「食」が繋がっていることを知りました。それが今のものづくりの根本になっています。

Q 戻ってくることで、収入面で心配はありませんでしたか？

A なかったですね。とりあえずは、自分が生活できるだけ稼げれば良いと思っていました。

Q 南魚沼で暮らすことの魅力は？

A まちと山の距離が近いことです。山があるおかげで水がおいしいし、5分で山に行けるまちってなかなかないですよ。キャンプやスキーなどのアウトドア活動にはとても便がいいですよ。

Q これから南魚沼で暮らそうと考えている人に一言！

A 南魚沼市には、同じ目的をもった人たちが集まり活動できる場が多く、市外から来た人も受け入れてくれる雰囲気があります。新しいことを始めるにあたって、そういった集まりが力になってくれる雰囲気もあります。



第1回採用戦略会議を開催しました

少子高齢化や人口減少が進むなか、企業の人手不足が深刻な課題となっています。企業が抱える採用課題を企業同士で共有し、来年度以降の採用活動を戦略的に取り組むため、6月20日(木)に「ほてる木の芽坂」で第1回採用戦略会議を開催しました。



市内企業40社が参加し、実際に市内の企業が行っている採用活動の事例発表や、異業種間の意見交換を行うワークショップを行いました。参加者からは「企業が考える理念や果たしたい役割を求職者に伝えることの大切さを学んだ」「有料求人サイトを活用していきたい」など、さまざまな意見を聞くことができました。

第2回目は10月17日(木)、第3回目は令和2年2月20日(木)に、両日ともふれ愛支援センターを会場に開催します。今後のU・Iターン移住を検討している人の「仕事探し」への対応にも生かしていきます。